

令和6年度第1回 大府市自立支援協議会全体会 議事録

日時	令和6年5月24日（金） 午後2時00分～午後3時30分
場所	大府市役所全員協議会室
出席委員	森本光代、三鬼ルミ子、木全和巳、平野みずえ、鈴木悦彦、後藤洋介、塚本鋭裕、朝熊清花、清水晶、青木剛志、大平長治、薄井秀人、大塚良孝、小川緑、中根恵美子、東 千恵子、水上和江 事務局：猪飼健祐、小島紳也、阪野圭亮、山崎誠、中村浩、三ツ矢誠、飯坂さやか、竹内真佑、小清水崇、杉浦英憲、久野幸信、竹内美喜
欠席者	櫻井政仁、杉原直樹、中垣邦美乃、加藤由美子、大久保みどり、秋津佐智恵
傍聴者	なし

敬称略

1 あいさつ

大府市長：市内障害福祉サービスの職員確保のための介護職員初任者研修費用補助、パラアート2024など、幅広い障がい者・児への施策を行っていく。障害福祉サービス等報酬における地域区分の据え置き、障害福祉サービス従事者の確保及び質の向上に繋げたい。本協議会と市が両輪となって障がい者が安心して暮らせるまちづくりを進めていきたい。

2 会長・副会長の選任

委員から会長に大府福祉会常務理事の鈴木氏、副会長に憩の郷の朝熊氏の推薦があり、異議はなし。正副会長の決定。

3 議題

(1) 大府市自立支援協議会について

資料に基づき事務局から説明、質疑

会長より各部会の正副部会長について下表のとおり指名

部会名	部会長	副部会長
ちいきづくり部会	平野 みずえ	塚本 鋭裕
くらし部会	清水 晶	後藤 洋介
しんろ・しごと部会	朝熊 清花	青木 剛志
こども部会	東 千恵子	水上 和江

正副部会長に合わせて、研修担当の杉原氏、日本福祉大学の木全氏、知多圏域のアドバイザーの半田市障がい者相談支援センター加藤氏を運営委員に選定。

(2) 大府市障がい福祉計画（第6期計画）、障がい児福祉計画（第2期計画）の状況について

資料に基づき事務局から説明、質疑

【委員】日中活動系サービスの就労継続支援B型の利用が増加し、計画値よりも多いが増加の理由は。特別支援学校卒業生の受入れだけか。一般就労が増加している現状にお

いて日中活動系も拡大しているのは、一般就労でうまくいかずサービス利用しているのか、場合によっては使用者虐待が発生していないのか、どのような相談があるか。

セルフプランの数が大幅に増えている。早急な対応が必要と考えるがどうか。

→【事務局】特別支援学校の卒業生の受入人数はそれほど変わっていない。若い方で一般就労していた方がB型から再スタートしたという事例が多い。A型、B型利用者が定着することなく一般就労へ移行できるような取組をしんろ・しごと部会と連携しながら取り組んでいきたい。

セルフプランの方は、利用時の認定調査に基幹相談センター職員が同席して状況を把握し、その後の相談がしやすい体制をとっている。

【委員】児の方が者に比べてセルフプランが増えたという認識だが、表中の数値は正しいか。

(4) 障がい児の保護者支援の表中のペアレントメンター2名はどのような活動をされているのか。

→【事務局】児のセルフプランの人数は再度確認させていただく。

ペアレントメンターについては、県の研修を受講した方が県へ登録をする。

市ではどのような方なのか把握していない。

→【委員】地域資源と考えられる方であるため把握をお願いします。

(3) 相談支援事業について

資料に基づき事務局から説明、質疑

【委員】計画相談支援事業の実施状況には新規も継続も含まれているか。

→【事務局】新規、継続で更新、継続で変更の人数が計画策定に含まれている。

→【委員】新規の相談を受けることが出来る体制かどうか、相談支援の調整機能が担えるのかを確認したいため、新規を再掲などで示していただけるとありがたい。

【委員】一般就労から就労継続支援A型・B型事業への移行を希望する方に対して、どのように相談支援につなげていくことができるか。就業・生活支援センターが難しければ、ハローワークや就職トレーニングセンターを含めて就職に特化した相談へ、どのようにつながりを持って支援していくのか。

→【委員】就職に向けては、しんろ・しごと部会でも各事業所から就労移行支援事業の体験に来ていただくような仕組みができないかと考えている。就職トレーニングセンターだけではやりきれないと思われるため、皆さんのご意見を伺いながら進めていけるとよいと考えている。

→【事務局】就職トレーニングセンターの就労移行支援事業の利用の有無を問わず、就労定着支援事業の利用を希望する方には、利用者本人を把握するところから関わっていただいている。最近では利用する事業所を決めたうえで相談に来る方が増えている。

→【委員】報酬改定の影響により施設が撤退したり、利用者を囲い込んでから計画相談に来てトラブルになるといったケースを聞く。利用者が傷つかない仕組みが大事であると思う。

(4) 障がい者の差別解消・虐待防止、福祉総合相談室の相談状況について
資料に基づき事務局から説明、質疑
→質疑は特になし

(5) 令和6年度の新規事業等について
資料に基づき事務局から説明、質疑
→質疑は特になし

(6) 大府市成年後見センターの事業について
資料に基づき事務局から説明、質疑
→質疑は特になし

(7) 各機関の情報交換

【委員】放課後デイサービス事業を全国展開する事業所から電話があり、利用者を紹介するという話があった。本来は、行政機関や基幹相談支援センターに相談して適切なところにつなげていくべきではと投げかけた。事業としてそのような動きがあることを危惧している。適切な相談ができる機関があるということを周知していく必要があると感じた。セルフプランが多くなるほど、こういった問題が広がっていき、発達の芽を止めてしまうのではと怖さを感じる。

【委員】6月8日土曜日にライムぶらすオープン記念マルシェを開催する。

【事務局】「みんなで一緒に障がいについて知ってみよう」の漫画冊子について。

【事務局】特別支援学校と福祉サービス事業所等との連絡会について。

3 その他
特になし